



NPO法人 あすみが丘国際交流

Newsletter

NPO 法人あすみが丘国際交流 No.77 2019.05.17 発行 会員数 889 名(2019.04.01 現在)

住所 〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘4-1-6 エクレール土気 101
TEL/FAX : 043-294-9551 E-mail : aifs@eastcom.ne.jp
Asumigaoka International Friendship Society = AIFS (アイフス)
<https://www.npo-aifs.org/> <http://aifs.cocolog-nifty.com/blog/>

☆ 総 会 報 告 ☆

K.N

「第16回定期総会」

「あすみが丘プラザ」が工事中なので、今年は留学生の同世代交流会でお世話になっている「県立土気高校」の会議室をお借りして総会を実施しました。慣れない場所なので、スムーズに出来るか心配しましたが、お手伝いの会員の皆さまのご協力のおかげで予定通り開催することができました。当日出席者は34名でした。清々しい冬晴れに恵まれた2019年1月27日(日)朝10時、金子理事のさわやかな開会宣言でスタート。金井理事長が総会に出席された方への感謝の言葉と、日頃のサポートへのお礼を述べました。そして、いよいよ審議開始です。

毎年、採決方法についていろいろな意見が出て、ここで時間を割いてしまうので、今年はそれを無くそうと、多少手間はかかるけど、書面評決など一番定款に沿った方法を採用しました。が、残念ながら今年も議論百出でした。

2018年度の実施事業について、担当理事が内容を報告し、監事が監査結果を報告しました。2019年度の事業計画と、再任・新任役員について、金井理事長が内容を説明しました。熱を帯びた活発な質疑応答のあと採決へ。第1号から第5号までの全議案は、大多数の賛成で承認されました。2019年度は理事7名監事1名の新組織で運営してまいります。皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事長からのメッセージ

金井章男

最近あまり耳にしません、私はコスモポリタンという言葉に魅かれていました。国を超え人種、宗教、イデオロギーなどに縛られることなく世界中のどこでも地球という単位で生きるというような意味においてです。

ところで、日本は2018年12月、世界にIWC（国際捕鯨委員会）脱退を宣言しました。IWCの加盟国には捕鯨を禁止しようという国が多くなり、資源確保さえできれば捕鯨をつづけていくという日本の主張に賛成が得られないという理由です。

鯨を食べて何が悪い？ これは伝統の食文化であり、鯨肉に依存している産業もあるのだから、その人達が食っていけなくなる、どうしてくれるんだというわけです。しかし、何年も鯨の捕獲を減らしてきて味も忘れ、ぜひ鯨を食べたいという人間も減っただろうし、食べたことがないという世代も増えているはず。鯨を生業としている人口も大幅に減少しているはず。どうもIWCの脱退というのは行き過ぎな気がします。

人間は、しょせん他の生命を食らって生きているのですから、資源管理さえできていれば鯨でも牛・豚・鳥でも同じことだというのは正当な理屈です。たぶん鯨を食べるなという人々は、それを犬・猫を食べるような感覚で見ているのでしょうか。感情・感覚と争えば大きなしこりが残ることが心配です。コスモポリタンの観点で考えれば、70億を超え90億にも達すると言われている人口を支えていくためには、昆虫食や藻類由来の食料などの新しい食を考え実行する時に来ていると言われています。資源として育てるのに効率の良い生物資源に切り替えて行くべきだということです。そうなれば「鯨もいかんが、牛も豚も鳥も可哀そうだからいかん」と日本から世界に発信していくことだって考えられます。

新任理事の挨拶と今年の抱負

岡崎憲司

この度理事に就任した岡崎憲司と申します。私は1990年（平成2年）4月に市川市からあすみが丘へ移り住みまして今年で29年目になります。今も現在東京へ通勤してありますが、最近慣れてしまったせいか毎日の通勤時間もさほど気にならず自然環境が残っているあすみが丘へ帰るとほっとします。入居当時東急不動産から「あすみが丘国際交流推進機構」と「シーモア市」という国際姉妹提携の内容を知りましたが、現在東急は離れ、特定非営利活動法人あすみが丘国際交流という名称での活動で、国際的友好、住民同士の親睦及び地域文化の向上に寄与しているNPO法人と認識しています。

2019年度実施事業内容としては

- ・ 在日外国人との交流事業
- ・ 海外文化等の紹介事業
- ・ 地域住民との交流事業
- ・ 地域環境保護事業
- ・ 地域情報発信事業



という事ですが、今後微力ではありますがご協力の程宜しくお願い致します。

くらしのほんごくらぶの活動報告



◎ 七草粥（ななくさがゆ）

S. A

2019年1月8日（火）10時～12時 AIFS
事務所 9名参加 日本では、古くから「七日正月」（1月7日）といって、セリ、ナズナなど七種類の野菜を入れたお粥（かゆ）を食べる風習があります。1月8日（火）にアメリカ、タイ、イタリア出身の日本語学習者3名と会員6名が参加し、会員手作りの七種粥を賞味しました。新年に、これを食べると病気にかからず、寿命がのびるといわれています。日本語学習者の殆どの方は、初めて七草粥を食べたということで、大変美味しいと喜び、全員で今年1年の無病息災を願いました。



◎節分・豆撒き

S. A

平成31年2月12日（火）10時～12時 AIFS事務所
10名参加

節分（立春の前日）は本来2月3日（日）ですが、この日に豆を撒く習慣は中国から伝わり、宮中で行われたようで、鬼を追い出し、福を呼び込みます。日本語学習者4名（イタリア、スリランカ、アメリカ、タイ出身）と会員6名が参加し、節分・豆撒きの行事について学習後、豆を撒いて厄を払いました。尚、今年の恵方は東北東で、各学習者は、鬼を追い出し1年の幸せを家に呼び込むことに、大変興味を持ったようでした。



◎7丁目の岩松さんからのXmasプレゼントを手にして T. K

日本の伝統工芸、輪島塗の小物入れや帯留め、錦織の札入れに「美しい、綺麗、宝にします、一時帰国するのでお土産に」と大喜び。紙面をお借りして岩松さんの hospitality に感謝致します。

地域の情報

- **ホキ美術館**はバルセロナのヨーロッパ近代美術館（MEAM）とコラボレーションし、昨年はホキ美術館のコレクションをMEAMに貸し出し展示しました。2019年はMEAMの現代スペインの写実絵画59点をホキ美術館で展示するそうです。（2019年5月17日（金）～9月1日（日））美の国際交流を地元で見られるのは嬉しいことです。
- **土気ロック** 6月2日（日）10:00～16:00 昭和の森太陽の広場
スポーツ、アート、ダンス みんなの文化祭
連絡先： tokerock@gmail.com
- **グリーンウェイブ** 5月25日（土） 小山町観音地 10:00スタート
国連が提唱する地球規模での植樹祭
連絡先： sakasu33@hyper.ocn.ne.jp

「手作り作品 展示販売」ご案内

ボランティア会員による、着物のリメイク・帯のバック・トールペイント・各種袋物・可愛い小物類・アクセサリ・アートフラワーのリースなど、沢山の作品を陳列。皆様お誘いの上、お気軽にお立ち寄りください。コーヒー、紅茶、お茶など飲み物を用意して、お待ちしております。

場所 あすみが丘国際交流 AIFS 事務所
千葉県緑区あすみが丘 4-1-6 エクレール土気 101
毎週木曜日 11時～16時
※売上の一部は、国際交流 AIFS に寄付されます。



ボランティア募集

- 1) 「双葉外語学校留学生のホームビジット」の受け入れ家庭を募集しています。
内容： 留学生があなたの家庭を訪問します。子供さんたちも含めいっしょに楽しい一日を過ごしてみませんか？ 一生忘れない貴重な思い出ができると思います。 なお、昼間のみで宿泊はありません。
時期：7月下旬予定
- 2) 「留学生と土気高校の交流イベント」の支援ボランティアを募集しています。
内容： 千葉地域で勉学に励んでいる外国人留学生が土気高校を訪問し、クラブ活動の紹介などを通して交流するイベントです。 大好評だった昨年に引き続き実施いたします。 ボランティアの方には、留学生の引率、土気駅～土気高校の送り迎えなどのサポートをお願いします。
時期：8月下旬予定
他国の文化に触れてみたい方、お気軽にご希望を登録ください。 詳しい内容は、AIFS 事務所まで、お問い合わせください。

事務所オープン日時：木・金曜日（祝日除く）10時～12時、13時～16時
*当日悪天候や行事日の都合でクローズにする場合がある為、電話でお確かめの上お越し下さい。
TEL : 043-294-9551
夏休み：8月10日（土）～8月21日（水）
E-mail: aifs@eastcom.ne.jp